

会 議 録

作成日 令和5年2月20日(火)

日	令和6年2月14日(水)	時間	13:30 ~15:30	場所	市民会館3階会議室
件名	(議題) 第3次糸魚川市生涯学習推進計画の策定について(案)				
出席者	【出席委員】14名(敬称略) 青山 範夫、井崎 由紀子、清水 博、渡邊 秀幸、村井 康司、橋立 茂樹、和泉 裕一、松本 香織、長 砂男、矢島 好美、田邊 和子、渡邊 文恵、西澤 隆、園田 和子 【助言者】 辻村 貴洋 准教授、関原 和人 副参事 【事務局】 (生涯学習課) 山本課長、伊藤課長補佐、須澤係長、七澤主査、伊藤主査、岩崎主査、小田嶋主査、大西主任主事、齊藤主事				
	傍聴者定員		5人	傍聴者数	0人

会議要旨

1 開 会 (13:30)

(委員長、助言者からの挨拶)

2 協 議

(1) パブリックコメント、修正案について

事務局説明(計画素案の全体部分について説明)

(質疑応答および意見交換)

・目次

委 員：目次において資料編に重複している部分がある。

事 務 局：修正する。

・P12~20

委 員：関連する主な事業として掲載されているそれぞれの事業が、どれくらい行っているのかが気になった。何年程度継続していてどれくらいの認知度なのかところがかかれば、意見ももらいやすいと思う。計画へ直接の反映ではなくても良いが、確認したい。

事 務 局：今週末に庁内委員会を予定している。そちらで共有させていただき、可能な範囲で次回以降の推進委員会などでお示しできればと思う。

・P21

委 員：OODA ループは気になって自分で調べる場合には正式名称の方が良いと思う。また、言葉として関係している人なら良く知っているが、浸透していないものについては空いているところに二次元コードを入れることで、親切なものになると思う。

事 務 局：正確性のあるサイトについて現時点では定かではないのだが、何かご存じのものはあるか。

委 員：例えばウェルビーイングは厚労省に掲載していると思うし、コミュニティスクールは文科省等に掲載していると思う。

事 務 局：掲載できそうな部分については取り入れて掲載したい。

(2) 進捗管理について

事務局説明（進捗管理においてどういった点を重視してほしいかを記入するワークシートの説明）

※協議内容は別紙のとおり

3 その他

次回会議日程等について事務局説明

閉 会（15：30）

（助言者、事務局からの挨拶）

【別紙】各事業分野における計画との関連性について

学びへのサポート						「学びへのサポート」の達成度を確認する観点
市民ニーズを把握した魅力的な事業の実施	オンライン配信などいつでも学べる事業の実施	誰もが気軽に参加できる体制づくり	広報・PR活動の見直し	生涯学習施設の整備	生涯学習に関わる関係機関や実践者との連携	
<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書支援のために定期的に図書館等で人を呼ぶ ・家庭内の学びが基本 ・お年寄りの知恵を伝える場を作る ・空き家等を利用した雪下ろし体験や古民家体験など 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会の同時、もしくはアーカイブ配信ができるだけ可能になるよう、開催時に講演者と調整 	<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆるい人集め（定員や申込を決めず、だれでも参加できる事業） ・お茶やお菓子等を設置して居場所になるようにする ・放課後学習室の実施 ・事業の名前を親しみやすいものに ・おじいちゃんやおばあちゃんとのつながりを作る ・子どもの定義は年少～高校生のイメージ 	<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の事業以外もPRすべき ・PRの仕組みづくり（民間団体などと協力も必要） ・PRの評価をする必要がある ・LIBER（小中学校と仮定のオンラインツール）の活用 ・安心メール、市LINEの活用 ・外国人向けPR（市公式LINEなどの電子で送ることで自分たちで翻訳できる） 	<p>△</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館協議会の設置 ・保育ルームとして利用しやすい環境の整備 ・クラウドファンディングで希望の施設の修繕に寄付できる仕組み（母校のここを直したい！） ・公民館の敷居を下げて立ち寄りやすくする 	<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が子育ての正解にとらわれないよう、「大丈夫だよ」と言ってくれる人（子育てが終わったおばちゃんとか）との繋がり ・親子を肯定してくれる相談先や受け皿の紹介、確保 ・カテゴリーを超えた連携 ・各公民館事業の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・親、子ども双方への居場所の提供ができていくかどうか ・正しくあれという強制をなくしていく意識 ・広報への取組
<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの目的を明確にしていく ・ニーズがどんなものがある、どう変化させようとしているかを考える ・キャリアフェスティバルのアンケートなど他課のアンケートにも子どものニーズは読み取れる 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに抵抗感が少ないのはSNSとかであるので、何かつかんでほしいと思うのであれば使う必要はある 	<p>○（ここはニーズの把握が進んでから）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生は学校での勉強や部活があって総体的に時間がない ・中学生はいろいろな行事は自分たち対象じゃないと思っているので、取り入れるならその人達が対象だということが必要 ・移動手段の確保 	<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちへの届きやすさを考えればCATVやYouTubeなどで活動を広めていく必要がある ※肖像権などの問題はある ・学校への配布だけでは他に埋もれてしまっかなか目につかないので、目に付く回数上げる 	<p>△</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点で子どもが多く集まる場所があるのであれば、そこを目指していく必要があるが、現状ないのであれば優先事項ではない 	<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じような活動をしている人が交流できる場があると良い ・子どもの取り合いにならないようにする必要はある ・関係機関への資金援助など 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークで反省するのが分かりやすいと思うが、事務局のまとめがより大変になる。 ・同じようなことをしている人はその中ではなせば良いと思う ・アンケートの目的を明確にしてどう変化させたか
<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のスマホ講座のような決めつけて行うのではなく興味に合わせた内容にする ・20～50代が参加しないことが課題だが、主婦向けのPC教室は30代の人も来ているので高齢者だけの学び直しでなくてよい ・アンケートからあまり回答が得られない状況 ・外国人との交流（能生方面が未開拓）もできると良い ・英会話教室などは需要があるから継続的に実施すべき ・いろいろなことへのきっかけづくりも大切 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインで学ぶ方法を知る必要がある ・事業によるがオンラインは検討していく必要がある（生で見ると価値がある美術展とかは別） ・いつでも参加できる継続的な事業が大事 ・大人向けの英語教室とかがないためオンラインとかで対応できると良いかもしれない 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人との交流（外国人に優しいまち） ・移動手段がない人への配慮 ・人と人が交流できる窓口が必要 ・保育ボランティアの活用 ・企業との連携（外国人労働者のいる企業への日本語講師の派遣講座など） ・フレイル予防など参加者が固定化されているものの対象世代を変更したのがあると良い 	<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能生はCATVがあるから多くの人に届いている ・発信者として見せ方を学ぶ必要がある（例えばスマホ教室はスマホを使うとこんなことができるなどのメリットも発信する） ・事業風景の配信（興味を持ってもらう） ・各世代によって受け取りやすい方法（紙媒体、SNS等）で情報発信を行う 	<p>△</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金銭的にも大きい改修などは難しい ・トイレのきれいさや多目的トイレ、授乳室の設置など抵抗感が生まれる可能性があるところは見直す必要がある 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的なジョパーク学習などができる連携の体制があるとよい（小学校までしかなくて中、高校生がない） ・何回も参加し続けてもらうことで講師の育成にもつながる ・中長期継続して講師やガイドを務める人に補助金を出す 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人との交流を考慮できているか ・同一内容の事業を継続に実施できているか ・事業の幅ができていくか（きっかけづくりとして）
<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブの設立の進捗管理 ・健康教室の参加率 ・子どもが希望するスポーツ活動を選択できる 	<p>△</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン講座（指導者の確保の観点からも） 	<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全世代が対象になっているが、市民にはそういった意識がない ・指導者育成の観点からも若い人も呼び込みたい 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興において抱えている課題点を市全体へ共有する（関係者だけでなく） ・シリーズ化や特集を広報誌などで伝えていく ・関係課の事業を含めたカレンダーを作成 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なメンテナンスを行う 	<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助等を出しながらでもスポーツ推進委員から多くの研修に参加してもらい、それぞれの活動を活発にってもらう ・上教大との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康運動教室の参加率